

仮設住宅における壁画の効果－東日本大震災の事例－  
Effect of graffiti arts on the wall in temporary housings  
-Case study of the Great East Japan Earthquake-

藤井 啓二郎  
Keijiro FUJII

SUMMARY

Lonely death in temporary housing has been a main problem in the Great Hanshin-Awaji Earthquake. One of the causes of lonely death is homebound. One of the causes of the homebound is that temporary housings is inorganic. There is an attempt to resolve such the temporary housing in graffiti arts on the wall. This research revealed about the wall painting of built temporary housing in the time of the Great East Japan Earthquake. Graffiti arts on the wall in temporary housing is considered to be effective to be able to resolve the cause of the lonely death.

KEYWORDS

Lonely death, Graffiti arts on the wall, Temporary housing , Great East Japan Earthquake

1. 研究の背景と目的

阪神・淡路大震災発生後に建設された仮設住宅で孤独死が社会問題となった<sup>1)</sup>。孤独死の原因の1つに、仮設住宅のデザインが皆無気質であることから生じる「閉じこもり」がある。目印の無い同じ建物がひしめき合い、各棟が数字で管理されている事により、居住者の不安感は増幅し迷子や閉じこもりがちになる人が現れる現象が起こっている<sup>3)4)</sup>。このように仮設住宅におけるデザインが皆無気質であることは問題視されており、東日本大震災ではその対策を1つの目的として、仮設住宅の壁に絵を描くという壁画プロジェクトが見られる。そこで、本研究の目的は、仮設住宅における壁画がどのような効果を持っているのか、東日本大震災の事例を通じて検証することにある。

2. 研究の方法

本研究は、東日本大震災発生後に建設された5万戸を越える仮設住宅のうち、最も多くの仮設住宅戸数のある宮城県の仮設住宅を対象とする。その中でも壁画が存在する仮設住宅である、仙台市あすと長町仮設住宅地、石巻トゥモロービジネスタウン仮設住宅第3, 4, 5, 6 団地、名取市美田園第二仮設住宅の居住者を対象とする。そして、本研究は大きく以下3つの方法を使用している。

2-1 壁画作成の事実を明らかにする

美田園第二仮設住宅の壁画については、株式会社クロス・クリエイティブ・コミュニケーションの内藤久幹氏に、石巻トゥモロービジネスタウン仮設住宅の壁画について

は、国際交流基金の原秀樹氏による電話でのヒアリング調査を行った。仙台市あすと長町仮設住宅の壁画については MMIX Lab 村上タカシ氏にメールでの質問調査を行った。

2-2 壁画の詳細を明らかにする

壁画の位置、絵の種類、大きさ、数を各仮設住宅団地について整理した。

2-3 壁画が及ぼす居住者への影響を明らかにする

壁画が及ぼす居住者への影響を明らかにするために、3つの仮設住宅で自治会長を含む8名ずつ計24名へのヒアリング調査を現地で行った。

3. 調査結果と考察

以下は調査結果をもとに考察したものである。

3-1 壁画作成の事実を明らかにする

壁画プロジェクトの企画にあたっての意図やきっかけは様々であるが、仮設住宅側から依頼されて壁画を作成した作成者と、自ら壁画プロジェクトを仮設住宅に企画し作成した作成者の2つのパターンがあることが分かった。依頼されて壁画を作成したプロジェクトと自らが働きかけた壁画プロジェクトでは、あすと長町仮設住宅と美田園第二仮設住宅の壁画作成経費の差で見られるように、負担する側が変わってくると考えられる。アーティストを選んだ理由や、壁画プロジェクトの対象とした仮設住宅を選んだストーリーは各々異なっており、偶然や自然な流れなど様々であるが、壁画作成を行政の許可に関しては共通していた。許可申請は、行政の所有である仮設住宅の壁画作

成に不可欠である。そして、許可申請を円滑に行うには自治会が必要なので、仮設住宅を選ぶ際に自治会が整っているという条件をもとに選んだのではないかと考えられる。

### 3-2 壁画の詳細を明らかにする

あすと長町仮設住宅では、仮設住宅の敷地外の人々からの印象を変えたいがために道路面や線路面といった敷地外に向けた壁画を作成した。この狙いを前提にしたため、敷地外の人々から見えやすいように壁面の9割を超える絵を壁面に描いたと考えられる。石巻トゥモロービジネスタウン仮設住宅第3,4,5,6団地では、外来客が迷わずに済む目印になるように道路面に壁画を作成した。この狙いを前提としたため、外来客が分かりやすいような壁面の6割を超える絵を描き、15面中12面を馴染みのある分かりやすい生物をモチーフにしたと考えられる。美田園第二仮設住宅では、仮設住宅の居住者が迷子になる事を防ぐために、仮設住宅の1棟ごとの両端に壁画を作成し、目印になるようにした。壁面に対する絵の割合は最も低いのは居住者が分かりやすく、壁の近くで見ても分かるように、あえて絵を小さめに描いたと考えられる。壁画を作成したアーティストが異なれば、使用する道具も様々であり、描く絵も様々である。しかし、3つの仮設住宅全てに動物や植物など馴染みのある生物が描かれていることは、居住者間のコミュニケーションのきっかけにもなるのではないだろうか。また、壁画を見た仮設住宅の居住者以外の人々にとっても、目印になり好印象を与える存在にも成りえるのではないだろうか。

表1 壁画の詳細

仮設住宅 比較要項	あすと長町	美田園第二	石巻トゥモロー ビジネスタウン
作成アーティスト	中川和寿 山田大輔 チムデ・サルラ 沼田佳苗 他	黒田征太郎	チチ・フリック
面数	19	40	15
絵のモチーフと 思われる物	動物8面 植物3面 風景画4面 抽象画1面 その他3面	動物16面 植物14面 その他10面	動物9面 植物3面 その他3面
壁面積	約6.5㎡	約12.3㎡	約8.6㎡
絵の大きさ(平均)	約5.9㎡	約1.8㎡	約5.5㎡
壁面に対する 絵の割合	約91%	約15%	約64%
壁画の場所	1-13号棟の 線路面(西)に13面 25,28-31,37号棟の 道路面(東)に6面	1-10号棟の西側に 10面、東側に10面 11-20号棟の西側に 10面、東側に10面	第3団地の1~5号棟 第4団地の1~4号棟 第5団地の1~3号棟 第6団地の6~8号棟 が向き合っている 道路面に15面
作成時使用した主な 道具	筆	指	スプレー

### 3-3 壁画が及ぼす居住者への影響を明らかにする

3つの仮設住宅での壁画プロジェクト成功の要因として、自治会が整っていた事が考えられる。そして、自治会が整っていることで、壁画プロジェクト以外にも仮設住宅内で、仮設住宅の生活に活気を与えるイベントが企画されている。このことから、壁画は仮設住宅における様々なプロジェクト、イベントの1つで、自治会やボランティアが仮設住宅団地を少しでも良いものにしようとする試みの1つに過ぎないのではないかと考えられる。しかし、その壁画プロジェクトという1つの試みは賛成している人々にとっては、気持ちが明るくなる事や、壁画があることで迷子にならずに済むなどの影響を与えている。また、壁画は形として残っているものなので、他の企画に比べて長期的に影響を与えているのではないだろうか。

### 4. 研究結果から考えられる考察

壁画があることで、自治会は積極的になにかに取り組んでいる活発な仮設住宅という印象を外部に与える事ができ、様々な企画が舞い込んでくる効果があると考えられる。なぜなら、壁画は自治会が活発に活動している宣伝効果にもなるからだ。そして、壁画による自治会の宣伝効果は様々な活動を起こすきっかけになり、壁画に対して反対派であった人々の暮らしでも、より良くできる様々な活動が企画される可能性もあるのではないだろうか。十人十色の居住者達だが、様々な企画を展開される事で何かしらの企画の中に1つは自分の好みに合うものがあるのではないだろうか。そういった様々な企画が集会所など、自分が住んでいる家以外の所で行われれば、外出や人と会うきっかけともなる。そうすれば、孤独死の原因である閉じこもりがちになることや、コミュニケーション不足を解決することができ、仮設住宅における1つの問題である孤独死などの諸問題を解決できるのではないだろうかと考察する。

#### 参考文献

- 1) 高橋 知香子・塩崎 賢明・堀田 祐三子：応急仮設住宅と災害復興公営住宅における孤独死の実態と居住環境に関する研究(住宅の被災・復興と改修, 建築経済・住宅問題), 学術講演梗概集. F-1, 都市計画, 建築経済・住宅問題 2005, 1513-1514, 2005-07-31
- 2) 縁 3.11 えんづくり (Vol. 2) 仮設住宅の壁画をペイント! アートの手でまちを元気に: アート・インクルージョン 宮城県, Juntos : 地域生活応援誌 64, 22-24, 2012-06
- 3) 特定非営利活動法人 いわて連携復興センター ホームページ <http://www.ifc.jp/news/notice/entry-425.html>
- 4) 石巻仮設住宅グラフィティアートプロジェクト報告書 [www.wochikochi.jp/topstory/titifreak\\_project.pdf](http://www.wochikochi.jp/topstory/titifreak_project.pdf)